

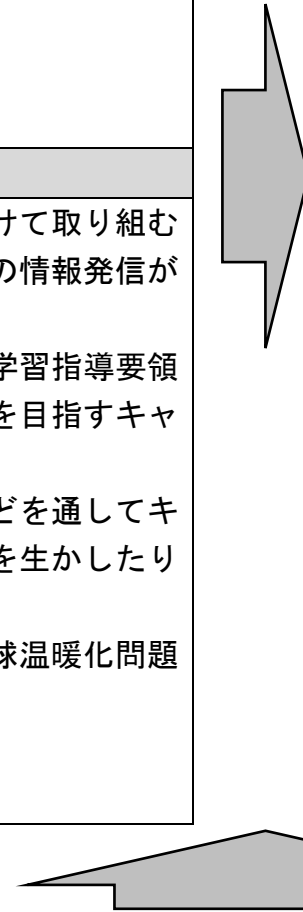
めざす姿別の振り返り	
<b>1 心身ともに充実し、自ら学び、考え、挑戦するひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々の児童・生徒の課題に沿った学習指導が行われているが、学力調査の結果においては、目標値を下回っているものもある。</li> <li>・ 各学校における体力向上アクションプランの取り組みの成果が出てきている一方で、校内での継続した取り組みになっていない学校も見受けられる。</li> <li>・ 全市立小中学校の普通教室や音楽室、理科室などの特別教室に空調設備を設置するなど教育環境の整備を図った。</li> <li>・ 特別支援教育支援員を配置することで、障害のある児童・生徒の学習を含めた学校生活全般の支援を行うことができた。</li> <li>・ 少子化、高齢化、人口減少が進む中で、芸術文化等の担い手不足や活動への支障などが生じており、生涯学習、スポーツ、芸術文化等を通じた仲間づくりや地域づくりなど更なる広がりが望まれる。</li> <li>・ 教職員による電子黒板やデジタル教科書等 ICT 活用が進んでいる。</li> <li>・ 教員に対して、一人一台学習者用端末の授業への活用の仕方などを支援する ICT 支援員の派遣や研修会の実施、研究指定校からの情報発信等により、その活用促進が図られている。</li> </ul>
<b>2 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校における「人権教育」、「道徳教育」により、生命や人権を尊重しようとする心が育っているが、さらに、違いを認め、多様性を尊重する人権教育の推進が課題となっている。</li> <li>・ 外国にルーツを持つ児童生徒の日本語指導や学習・生活面の指導援助及びその保護者に対する教育相談等を行うことで、言語や文化の違いにより学習や生活へ支障をきたさないように支援を図ることができた。</li> <li>・ 英語によるコミュニケーションをとる機会は増えたが、国際理解教育に関するイベントやコンテストなどにおいては、参加者が限られる傾向がみられる。</li> </ul>
<b>3 長崎を愛する心を持ち、世界に貢献するひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長崎のまちが持つ個性の継承、活用に向けた取り組みは一定進み、長崎に誇りを持つ市民は増えている。今後は、その魅力の発信と更なる資源磨きが必要である。</li> <li>・ 市内中学校、高校が福州市の学校と友好学校協議書を交わし、オンラインでの交流や中国文化の理解促進を図り、国際性をもった人を育む取り組みを行っている。</li> <li>・ 英語によるコミュニケーションをとる機会は増えたが、国際理解教育に関するイベントやコンテストなどにおいては、参加者が限られる傾向がみられる。</li> <li>・ 医学や環境などいくつかの分野では、長崎市における先進的な取り組みに対し、世界からの期待が高まっている。</li> </ul>



今後の方向性	
<b>1 心身ともに充実し、自ら学び、考え、挑戦するひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上や健やかな心と体の育成に向け基礎的な取り組みの更なる充実を図る。</li> <li>・ 生涯学習やスポーツ、芸術文化の面では、個々の体験や知識を通じてひとと出会う、つながるといった流れをつくる。</li> <li>・ Society5.0時代を見据え、情報を活用できるひとを育てる。</li> </ul>
<b>2 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめの未然防止を含めて、違いを認め多様性を尊重する人権教育の推進を図る。またジェンダー平等や性の多様性の教育については、今後情報を収集しその取り組みを広げる。</li> <li>・ 全ての人の人権が尊重され、男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野で活動に参画できるよう、市民意識の向上及び学習の機会の確保に努める。</li> <li>・ 人間性が尊重され、お互いの個性を認めあい、他者を思いやり支え合いながら、子どもから大人までライフステージに応じて誰もが豊かでいきいきと、幸せに暮らせる都市の実現。</li> <li>・ 外国人が暮らしやすい環境づくりと日本人も含めた多文化共生のまちづくりを更に進める。</li> </ul>
<b>3 長崎を愛する心を持ち、世界に貢献するひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長崎を愛する心（シビックプライド）を高め、地域社会全体で個性の継承・活用に取り組む土台をつくる。</li> <li>・ 国際理解教育の充実のため、引き続きイベントやコンテスト、国際交流体験を実施するとともに、ALTの効果的な配置を行う。</li> <li>・ 貧困や飢餓、環境破壊など、世界中が抱える様々な問題に対して世界中の人々と連携して持続可能な世界の実現に貢献するひとを育てる。</li> </ul>

めざす姿別の振り返り	
<b>4 被爆の実相を継承し、平和の実現に貢献するひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被爆者が高齢化し、「被爆者のいる時代の終わり」、「被爆者のいない時代の始まり」が目前に迫り、限られた時間の中で被爆者の実相を伝える取組みが求められている。</li> <li>被爆者が高齢化するなか、平和をアピールできる人材が不足している。</li> <li>多くの市民が当事者として平和について考え、行動する必要があるが平和活動の裾野の広がりが十分でなく、平和活動に参加する人が固定化している。</li> <li>「被爆体験の継承」「平和の発信」「平和の創造」の三つの柱による新しい平和教育について、「平和手引書」と研究協力校の取組みにより浸透を図り、全ての学校で実践することができた。</li> <li>児童・生徒への被爆体験講話や原爆資料館見学など学齢に応じた平和教育が毎年、計画的になされている。</li> </ul>
<b>5 地域を支え未来へつなぐひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ連絡協議会の設立が進み、様々な分野の課題解決や活性化に向けて取り組む地区がでてきている一方で、各団体の活動の周知や人材を育成するための研修等の情報発信が不十分である。</li> <li>長崎市版キャリア教育「長崎LOVERS育成プログラム」を推進することで、学習指導要領を踏まえた「社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力」の育成を目指すキャリア教育と長崎のまちを支える担い手の育成を図ることができた。</li> <li>長崎の宝発見・発信事業や日吉自然の家での宿泊学習、長崎商業での職業講話などを通してキャリア教育の充実が図られている一方で、子ども達が体験する場、体験したことを生かしたりするキャリア教育の場が地域において十分であるとは言えない。</li> <li>地球規模での気温上昇、干ばつなどの気候変動や災害の顕著化により市民にも地球温暖化問題に対する危機感が広がっている。</li> </ul>

今後の方向性	
<b>4 被爆の実相を継承し、平和の実現に貢献するひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原爆の悲惨さを将来にわたって伝え続けるため、語り継ぐ「ひと」を育成する。</li> <li>長崎大学等と連携し、平和のアピールができる人材を引き続き育成していく。</li> <li>被爆継承への理解を深め、様々な視点から平和について考える人材を育成する。</li> <li>被爆の実相に関する正しい理解と平和の意識を醸成するため、学齢に応じた平和教育を進める。</li> </ul>
<b>5 地域を支え未来へつなぐひと</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修・講座の実施及び効果的な情報発信をすることで、まちづくりの担い手となる人材の掘り起こし及び育成を図る。</li> <li>「未来のまちづくり」について考える場を設け、小中学生もまちづくりの主役であるという意識を育て、長崎版キャリア教育「長崎LOVERS育成プログラム」を推進する。</li> <li>一人でも多くの市民が当事者意識を持ち、日常生活における環境に配慮した行動（エコライフ）につなげていくための取組みを進める。</li> </ul>



時代の流れ	特に求められる視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少・少子化・高齢化</li> <li>Society5.0</li> <li>コロナウイルス感染症</li> <li>被爆者がいなくなる時代</li> <li>核兵器廃絶、世界恒久平和に向けた役割を担う被爆都市長崎への期待の高まり</li> <li>持続可能な世界の実現 (SDGs)</li> <li>気候変動 (災害の激甚化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の質の向上 (QOL)</li> <li>まちづくりの担い手の育成 (キャリア教育)</li> <li>情報を活用する力</li> <li>変化に対応する力</li> <li>誰一人とりのこさない</li> <li>語り継ぐ「ひと」の育成</li> <li>平和の発信</li> <li>環境との調和 (持続可能性)</li> <li>多様性</li> </ul>